

～いよいよ夏本番 楽しみにしていたプールでの体育授業が始まりました～

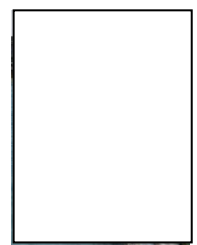
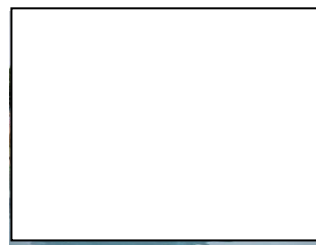
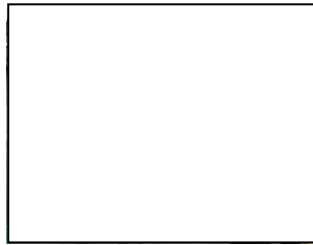
三年ぶりのプール！！ちょっぴり不安だけど気持ちいい



6月10日に六年生がプール掃除をしてくれました。汚れていたプールも見違えるように綺麗になりました。六年生、ありがとうございます。先週よりプールでの体育授業が始まりました。去年、一昨年とコロナの関係でプール授業ができなかったのが、三年ぶりのプールです。三年生までは、沖代小のプールで泳ぐのは初めてということになります。

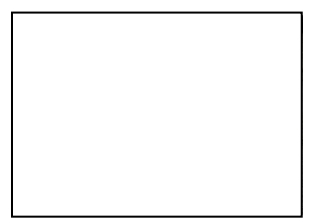
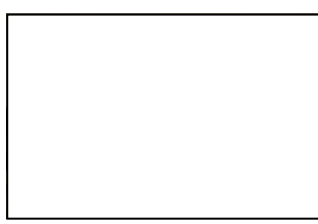
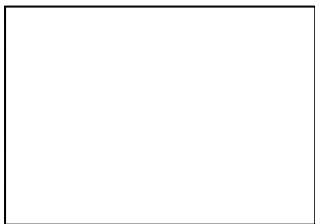
まずは、しっかり水に慣れるところからスタートです。低学年の児童は体の力を抜いて、水に浮かぶことができたならOKです。中学年の児童は脱力・伏し浮き・バタ足・息継ぎに挑戦。クロールにも挑戦してみましょう。高学年は、自分の記録を少しでも更新できるように頑張りましょう。

久しぶりのプールです。欲張らず、自分でしっかりめあてを立て、楽しみながら活動して欲しいと思います。



五年生が「香々地青少年の家」へ体験学習に行ってきました

6月14日(火)、毎年恒例となっている五年生の「香々地青少年の家」での体験学習が実施されました。残念ながら本年度も日帰りでの体験学習となりましたが、学校の中では味わえないプラネタリウムやバードコール作りなどを体験しました。今回の体験学習のねらいは、来年度最上級生になる五年生に、活動を通して学年全体で協力し、学校全体を引っ張っていくリーダーとしての自覚を育てることでした。あいにくの雨で海での活動はできませんでしたが、校外での集団行動を通して「人を思いやること、人を楽しませること、ルールを守ること」の大切さを一人ひとりが考えたのではないのでしょうか。これからの五年生のリーダーとしての成長に期待します。



気持ちのいいあいさつができる子ども ～コミュニケーション力を育てる～

朝、校門で子どもたちとあいさつを交わします。元気なあいさつをする子、丁寧に立ち止まってあいさつをする子、にっこり笑顔であいさつをする子、ちょっと恥ずかしそうにあいさつをする子。私も気持ちを込めてあいさつを返します。昔から、何をするにも「まずは、あいさつ」と教えられてきました。運動するにも、習い事をするにも「相手に敬意（尊重）を持って接する」＝「きちんとしたあいさつができる」は今も昔も変わりません。これから先、いくら時代（社会）が変化しても人間どうしのコミュニケーションの重要性は同じです。誰に対しても気持ちのいいあいさつができる子どもに成長して欲しいと思います。